

平成21年度 事務事業シート(一般事務事業)

継続事業(期限を定めず行う事業)

事務事業名	04荷さばき地の管理運営(コンテナターミナルを除く)	コード	担当課	港営部港湾管理事務所
		5082304	連携担当課	(港営部)港営課、(建設部)工事課、港湾工事事務所

1 事務事業の目的・目標(PLAN)

政策の体系	政策名	5安全な港		
	基本施策名	08施設の安全性・信頼性の向上		
	個別施策名	23港湾施設の機能を維持・強化する		
事務事業の概要 (簡潔にわかりやすく)		施設の使用状況を把握し、無許可使用や施設への損傷の有無に注意を払い、損傷等の不具合が生じた場合は、緊急度に応じた補修を実施します。		
開始年度		昭和 36 年度		
根拠法令・要綱等		名古屋港管理組合港湾施設条例		
事務事業の目的	対象 (誰を、何を)	荷さばき地		
	意図 (どういう状態にしたいのか)	適切に管理し、効率的に使用できる		
活動指標	事務事業の実績を測る指標	単 位	算出方法(式)・指標設定の考え方	
	使用許可申請の件数	件	荷さばき地使用許可申請の件数	
	現場確認の日数	日	荷さばき地施設の使用状況等を確認した日数	
成果指標	事務事業の目的の成果を測る指標	単 位	算出方法(式)・指標設定の考え方	
	施設提供率	%	(荷さばき地提供面積×日数)/(荷さばき地総面積×日数)	

2 事務事業の実施(DO)

事務事業の実施内容 ＜平成20年度＞ と 平成21年度以降、シート作成時点までに変更した実施内容(ある場合) (内容は具体的に)		<ul style="list-style-type: none"> ・使用許可申請書の受理 ・利用調整 ・現場確認を実施し、施設の使用状況等を確認 ・港湾管理情報システムに使用実績を入力 ・利用者からの要望等により、施設損傷等の不具合が生じた場合は緊急度に応じた補修を実施 				
項 目		単 位	平成19年度 (決算額)	平成20年度 (決算見込額)	平成21年度 (予算額)	
事業費 a		千円	0	0		
人件費 b		千円	26,055	26,310	26,739	
職員数	正規職員	人	3.00	3.00	3.00	
	嘱託職員	人				
	合計	人	3.00	3.00	3.00	
総事業費 a+b=c		千円	26,055	26,310	26,739	
活動指標	使用許可申請の件数	目標				
		実績 d	件	4,863	4,251	
		単位コスト	千円(c/d)	5	6	
	現場確認の日数	目標	日	245	243	242
		実績 e	日	245	243	
		単位コスト	千円(c/e)	106	108	
成果指標	施設提供率	目標	%	100	100	100
		実績	%	99.7	97.9	
		達成率	%	99.7	97.9	
	目標					
	実績					
備考(補足説明等)						

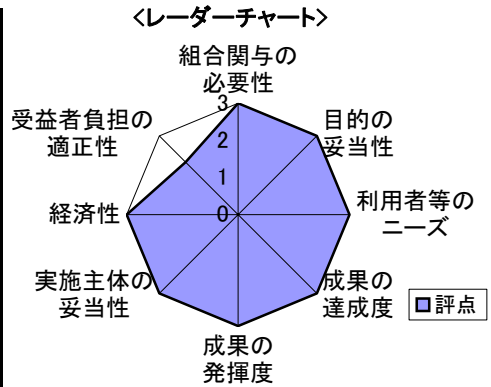
3 事務事業の検証<平成20年度実績>(CHECK)

視点	必要性	※各観点ごとに、該当する項目の点数(3~1)を評点欄に記入してください。法令や県市の条例等により実施が義務付けられた事務事業については、全ての観点到点数0を記入してください。	
観点	評点	点数	
組合 関与の 必要性	3	3	本組合が関与すべき事務事業である。
		2	本組合が関与すべき必要性が薄れてきている。
		1	本組合が関与すべき必要性が薄く、事務事業の存続について検討すべきである。
目的の 妥当性	3	3	事務事業の意図は個別施策の成果に結びついており、対象の設定も妥当である。
		2	他港湾の水準や民間競合等の観点から、対象や意図の見直しを検討する必要がある。
		1	事務事業の意図と個別施策の成果との結びつきが低下している。
利用者 等の ニーズ	3	3	ニーズの高い事務事業である。
		2	ニーズに変化がみられ、事務事業の見直しを検討する必要がある。
		1	ニーズが低下している、あるいは、ニーズと比較してサービスの供給が過剰又は不足となっている。

視点	有効性	※各観点ごとに、該当する項目の点数(3~1)を評点欄に記入してください。	
観点	評点	点数	
成果の 達成度	3	3	成果の目標を達成している。
		2	成果の目標を達成していないが、概ね計画どおりに推移している。
		1	成果の目標を達成しておらず、進捗が遅れている。
成果の 発揮度	3	3	事務事業の実施内容に見合った成果が得られている。
		2	事務事業の実施内容を見直すことで、さらなる成果の向上が期待できる。
		1	現在の成果は十分とは言えず、事務事業を継続しても、これ以上、成果の向上は期待できない。

視点	効率性	※各観点ごとに、該当する項目の点数(3~1)を評点欄に記入してください。「受益者負担の適正性」については、事務事業の性質上、該当しない場合は点数0を記入してください。	
観点	評点	点数	
実施 主体の 妥当性	3	3	民間など他の実施主体を活用している、あるいは、本組合が主体となって実施する必要がある。
		2	現段階では、本組合が主体的に実施する必要がある。
		1	他の実施主体の活用により、さらなる効率化は可能である。
経済性	3	3	継続的にコストの削減を進めており、これ以上コストを下げる余地がない。
		2	電子化等の事務改善、事業手法、委託先、契約方法の見直し等により、さらなるコスト削減が期待できる。
		1	単位コストが悪化しており、早急にコスト改善を図る必要がある。
受益者 負担の 適正性	2	3	受益者の負担割合は適正である。
		2	社会経済情勢や他団体の類似事業との比較から判断して、負担割合を見直す必要がある。
		1	社会経済情勢や他団体の類似事業との比較から判断して、相応の受益者負担を求める必要がある。

総合所見	※必要性、有効性、効率性の検証結果から課題・問題点等を整理します。	
事務事業の改善・見直しの余地	<input type="checkbox"/> 多い	<input checked="" type="checkbox"/> 少ない
※該当する項目をチェックします。		
(所見欄) ※判断理由、課題・問題点等を記入します。		
<p>荷さばき地は、港湾施設の基盤施設の1つであり必要不可欠の事業ではあるが、①施設といっても基本的に土地であること。②1日又は1月単位での使用許可になっていること等、シンプルな事業でもあり改善・見直しの余地は少ないと考えます。</p> <p>但し、受益者負担について、平成7年の条例改正により料金改定がなされたが、暫定料率が継続されています。施設の老朽化等維持費が増大する中、使用料収入の適正化が課題となっています。</p>		



4 事務事業の改善(ACTION)

事務事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 終了	<input type="checkbox"/> 休廃止			
取組の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 加速	<input type="checkbox"/> 減速	<input type="checkbox"/> 延伸
コスト削減裁量余地	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無				

今後の改善策等(現実的かつ具体的に)	※個別施策管理シートの判定結果を踏まえ今後の改善策や取組方針を記述します。
<p>港湾では、大型重機による荷役作業も頻繁に行われ、事故が起こると大規模なものになりかねません。施設を良好な状態で提供するため、施設利用者の視線で修繕等を行えるようにしたいと思います。</p>	